

国際経済入門Ⅱ

科目ナンバリング ECP-104
選択必修 2単位

中西 俊裕

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、世界各国が抱えている経済面の問題、課題を多面的に取り上げ、理解を深めることを目的とします。世界経済は米国の金利引き上げ、中国の経済成長の行方など様々な要因によって左右されます。両国のほかインド、東南アジア諸国連合(ASEAN)、中東など主要諸国・地域の経済を動かすメカニズムを学ぶと同時に、統計資料の活用の方法や各国・地域と日本との関係について経済・政治・外交を含め多面的に考えていきます。

2. 授業の到達目標

学んだ要素を組み合わせて、将来の国際経済の展開について自分なりの予測を立て、それをわかりやすく説明できるようになることを目標にします。

3. 成績評価の方法および基準

課題レポート20%、小テストの成績20%、定期試験の成績60%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は特に指定せずプリントを配布する。新聞・雑誌の国際面・経済面によく目を通すこと。

参考文献

イアン・ブレマー 対立の世紀 日本経済新聞出版社

5. 準備学修の内容

次回の対象となる国・地域について、新聞やインターネットのニュース記事で話題になっている問題点を点検しておく

6. その他履修上の注意事項

定期試験を受けるには、原則60%以上出席することが必要条件となる。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(講義の進め方と、国際情勢の見方について)
- 【第2回】 統計資料と国際経済(信頼できるデータとは、国民経済計算の基本的知識、ウェブサイト活用方法)
- 【第3回】 国際金融と日本 欧米での金融緩和の終了が日本や新興国経済に与える影響
- 【第4回】 世界貿易と日本 米国の政策変化と日本への影響
- 【第5回】 原油市場と日本 エネルギー安全保障と産油国との関係
- 【第6回】 再生可能エネルギーと日本 普及度の国際比較
- 【第7回】 環境問題と日本 パリ協定を巡る先進国と新興国の見解の溝
- 【第8回】 多面的に見る経済関係(1)米国と日本
- 【第9回】 多面的にみる経済関係(2)中国と日本
- 【第10回】 多面的にみる経済関係(3)欧州と日本
- 【第11回】 多面的にみる経済関係(4)東南アジアと日本
- 【第12回】 多面的にみる経済関係(5)ロシアと日本
- 【第13回】 多面的にみる経済関係(6)中東と日本
- 【第14回】 総論 TPP, RCEPなど地域連携の展望を交えて
- 【第15回】 まとめとテスト